

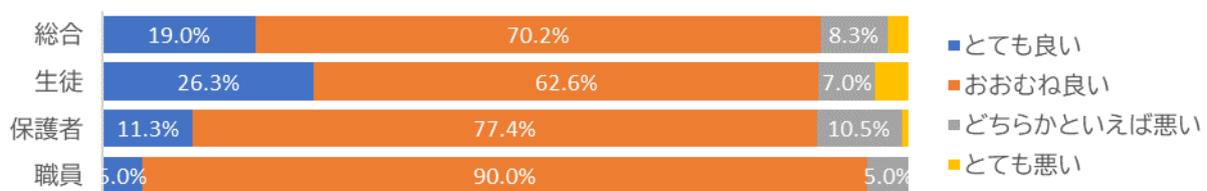
令和5年度 学校評価アンケート結果について

日頃よりご理解ご協力を賜りありがとうございます。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。昨年度に引き続き、Webアンケートにて実施をいたしましたところ、回答率が若干低めではありますが、全校の回答率70%、多くの自由記述によるご意見をいただきました。

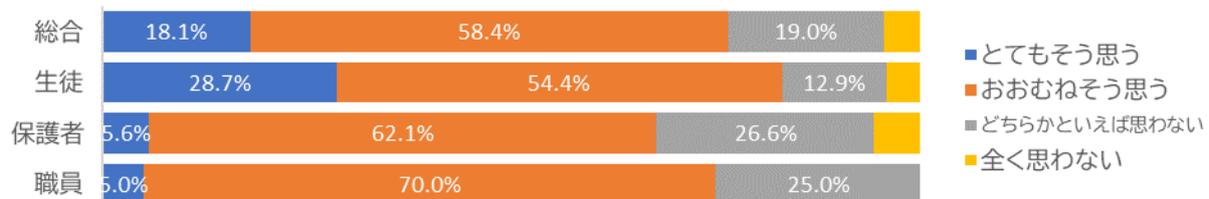
それぞれの設問についてみますと、総じて、「とても良い(とてもそう思う)」「おおむね良い(おおむねそう思う)」が80%以上のものが多く、白馬中学校の取り組みを肯定的に受け止めていただいていることに、私たちの頑張りも報われる気がして嬉しく思います。一方で貴重なご意見も頂戴しております。今後の学校運営にご示唆いただけたことに感謝申し上げ、直ちに改善できることは改善し、教育の充実を図っていきたいと思います。自由記述でのご意見ご感想につきましては、現段階での方向性についてレスポンスさせていただきました。ご理解ご協力をいただければ幸いです。また、半数以上の方から心温まるご意見ご感想も頂き、学校職員一同励みとなるところです。これも、明るく素直な子どもたちがいて、温かで寛容な保護者の皆様がいるお陰であると心から感謝しております。このような皆様に支えられ白馬中学校が前進していることに心から御礼申し上げます。

設問1 全体として、白馬中学校の教育活動をどう思いますか？



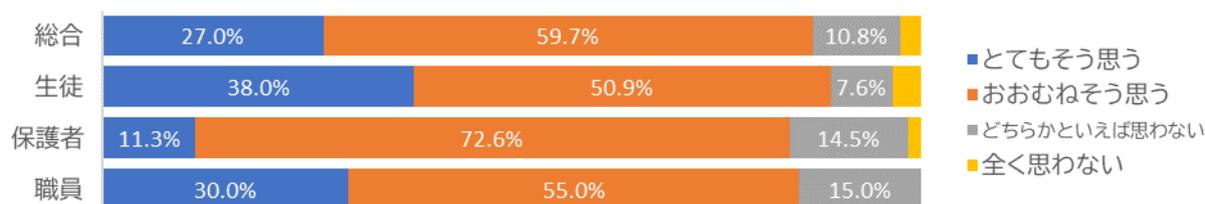
学校教育目標を「たのし うれし 白馬われら」として4年目となりました。今年度、スローガンを「未来へつなぐ」とし、特に「ICTの活用」と「SDGsの推進」、「相談機能の充実」を力点に掲げ、あらゆる教育活動で意識して取り組んで参りました。例えば、1年総合 DAY、唐松岳登山、2年職場体験学習、宿泊学習、HISとの合同授業、3年奈良京都への修学旅行、全校でのSDGsミーティング、総合発表会などですが、これらの一つ一つで、「たのし うれし 白馬 われら」を意識できたように思います。このような取り組みが、90%を超える肯定的な評価につながったと思います。ICT機器についての不具合を当局と協議し、早急に改善し、今後も、地域の皆さんと連携しながら、努力や工夫を重ね、子どもにとって充実した教育活動を推進して参りたいと思います。

設問2 授業は工夫されていて、お子さんは授業内容を概ね理解できていると思いますか？



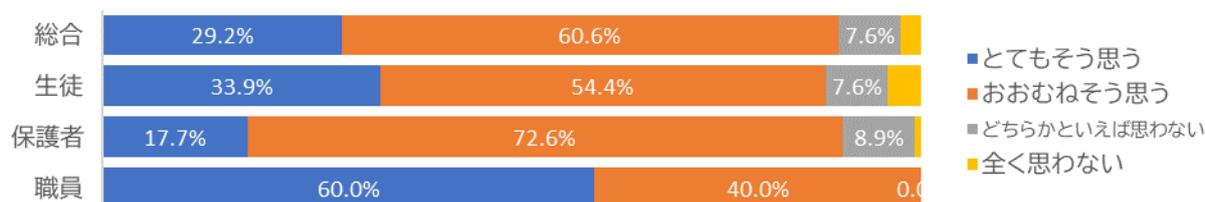
多くの生徒が肯定的に評価してくれており、生徒がICTを活用しての、「対話的で協働的な学び」「個別最適な学び」を意識した授業をしてきた成果の表れかと感じています。一方で、満足していない人の割合は、生徒が17.0%、保護者が32.2%、職員が25.0%に及びます。これは、生徒の学習意識の高さや、保護者や職員の生徒の学習への期待の表れかと思しますので、今後も職員研修や教科会の充実をはかり、魅力ある授業づくりを生徒とともに進めていきたいと思います。

設問3 総合的な学習の時間や奉仕活動・ボランティア活動などを通して白馬村のひと・こと・ものと触れあう中で、白馬村で喜びやよさを感じるような教育活動をしていると思いますか？



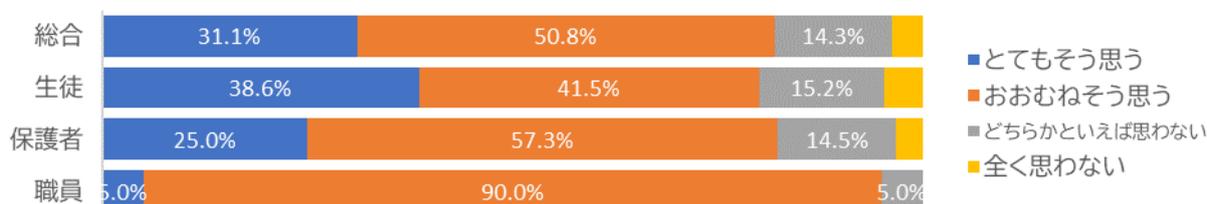
昨年度と同様、88%を超える生徒が肯定的に評価してくれました。学校教育目標との関連から、白馬に生きる喜びを実感するよう意識しています。授業づくりにおいても地域と連携して取り組んだことや、SDGs ミーティング、総合的な学習の時間など様々な場面で地域の皆様に未来的視点を持って積極的に関わっていただけていることが、白馬村で生活することに対する喜びやよさを実感することにつながっていると感じています。今後、職場体験活動をはじめ、地域と協働ですすめる総合的な学習の時間の充実を積極的に進めて参りたいと思います。

設問4 学校は、お便りやホームページ等で必要な情報をお知らせしていると思いますか？



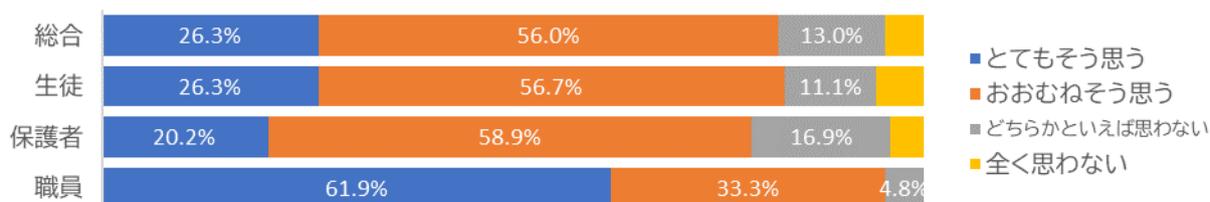
昨年度同様の高評価をいただきました。今年度は学校からのお便りをホームページへの掲載及び絆メールへの添付によりお知らせしております。必要に応じて紙での配布も行っていました。紙文書以外の連絡手段が複数あることで、ご家庭に混乱を招いてしまっている面も、寄せられた自由記述からわかってきました。学校へ文書による提出をお願いする内容についても、絆メールやホームページでお知らせできるようにするなど、改善していくよう検討して参ります。

設問5 お子さんは、学校へ行くのが楽しいと感じていますか？



80%を超える生徒、保護者の皆様から、肯定的な回答をいただきました。しかし、19.9%の生徒が否定的な回答であったことは、学校として重く受け止めなければならないことです。他の設問の結果と併せると、本校の学校行事に関わる教育活動の推進については全体的には良さそうですので、「授業に満足していないこと」「あやふやな規律」「学力や進路」などについて、より意識しながら、生徒全員が「楽しい」と感じる一体感のある学校生活となるよう、努力して参ります。

設問6 いろいろな先生が、お子さんのことを心配したり大切にしたりしていると思いますか？



全体としては、80%を超える肯定的な回答をいただきました。また、アンケート自由記述欄で、保護者の方から、多くの感謝の気持ちを伝えていただき、生徒との関わり・支援に対し、一定の評価が得られていることを嬉しく思います。本年度より相談の時間の実施、相談システムを開設し、生徒が相談しやすい環境づくりを進めており、一定の成果が得られている一方で生徒の否定的な回答が16.9%（うち、全く思わないが5.8%）あることを設問5と同様に重大なこととして受け止め、今後も教師一人一人が生徒一人一人の思春期特有の複雑な思いに寄り添い、存在をまるごと受け入れるように努めて参ります。また、そのための研修や相談しやすい環境づくり、成長に寄り添う時間の確保を工夫して参りたいと思います。